

北海製鉄㈱第2高炉の改修、名古屋製鐵所第3コークス炉のリフレッシュ対策について

新日鐵住金株式会社（以下、新日鐵住金）は、2020年中期経営計画の主要施策の1つである「国内マザーミルの“つくる力”の継続強化」の一環として、新日鐵住金室蘭製鐵所構内において製銑設備を保有する北海製鉄㈱の第2高炉の改修および名古屋製鐵所第3コークス炉のリフレッシュ（炉形式の変更を含む）を決定致しました。

新日鐵住金は、今後も高度ITを含めた国内外の最新技術の導入等により、「設備」を強化し、安定生産、生産性向上、コスト改善等の効果拡大を図って参ります。

<北海製鉄㈱第2高炉改修の概要>

1. 炉容積 : 3,014 m³（現状 2,902 m³）
2. 改修時期 : 2020年下期予定
3. 投資額 : 約350億円
4. 施工 : 新日鐵住金エンジニアリング㈱ 他
5. その他 : 現行高炉は2001年11月に稼働

<名古屋製鐵所第3コークス炉リフレッシュの概要>

1. 能力 : 80万トン/年（84門）
2. 稼働時期 : 2021年度上期予定
3. 投資額 : 約570億円（付帯設備を含む）

（お問い合わせ先）総務部広報センター TEL : 03-6867-2135, 2146, 2977, 3419

以上

